地域全体で育て、見守る　中原っ子

対象学校名等	下呂市立中原小学校	対象学年	全学年
支援活動内容	中原校区教育モニター協議会による子育て事業		

学校の願い

・中原校区教育モニター協議会（地域団体の代表、PTA 代表、学校代表で構成）の協力を得て、本協議会スローガン「育てよう　元気で　たくましい　中原っ子」のもと、研修会やふれあい行事などを行う。

・児童や保護者が研修会やふれあい行事に参加をすることで、自分たちの地域を見つめ直し、郷土を愛する心を培う。

コーディネーターの関わり方

①区長をはじめ、ＰＴＡ本部役員、社会教育推進委員などで構成をするモニター協議会運営委員会（年３回）を開催し、協議会総会（年１回）のもち方や年間の計画、行事の計画などを立案する。企画、庶務などは、コーディネーター（教頭）が行う。

②平成１１年に立ち上げられたモニター協議会を存続させるために、コーディネーターの引き継ぎを確実に行うことを大切にしている。

活動の工夫や効果

工夫

①学校、保育園が地域の支援をいただくために、モニター協議会運営委員会の場で、学校や保育園からは学校の方針や様子を伝えたり、地域の団体代表からは地域での児童の様子を伝えたりするなど､情報交流をする。

②中原地域のことを児童や保護者に伝えていくために、地域の方を講師としてお願いする。また、活動を行う前に講師の方から地域にまつわる話や紙芝居などを行ってもらい、地域をより身近に感じられるようにしている。

交響曲「下呂石物語」の演奏

効果

①地域の方々と活動しながら会話をかわすことで、児童や職員は地域の方との交流がもてている。また、地域の方にも中原小の児童の様子を知っていただく良い機会となっている。

②総合的な学習の時間に高学年では、「中原を知ろう」で学んだ中原地区の歴史をさらに詳しく学習をしたり、学んだことを「かがやきフェスタ（学習発表会）」で劇などで発表したりし、地域の方に披露している。

③モニター協議会運営委員会が中心となって､企画運営や地域の方への呼びかけを行っているため、地域の方も積極的に参加をし、児童や保護者との交流をしてくださっている。

「中原を知ろう」注連縄作り